

2010年度 再資源化等業務の実績公表

公益財団法人 自動車リサイクル促進センター
再資源化支援部

【2010年度の使用済自動車再資源化等の概要】

【期間】2010年4月1日～2011年3月31日

< 特定自動車製造業者等からの受託業務の再資源化等の実績 >

フロン類は、前年実績24.6千台より2.6千台増え、27.2千台を処理した。

エアバッグ類は、前年実績23.7千台より2.4千台増え、26.1千台を処理した。

ASRの引取台数は、前年実績27.0千台より3.4千台増え、30.4千台を処理した。重量にして7.3千トンであった。

◆ 再資源化等契約状況

コード	契約者の氏名又は名称	契約締結年月日
013	株式会社光岡自動車	2004年10月1日
014	株式会社鈴商	2004年12月1日
602	株式会社オートレックス	2004年10月1日
603	株式会社オートリーゼン	2004年10月1日
604	オートトレーディングルフトジャパン株式会社	2004年10月1日
(※1) 607	コーンズ・アンド・カンパニー・リミテッド	2004年10月1日
609	フィアット グループ オートモービルズ ジャパン株式会社	2004年10月1日
611	ゼネラルモーターズ・ジャパン株式会社	2004年10月1日
612	ヒュンダイ モーター ジャパン株式会社	2004年10月1日
614	チェッカーモータース株式会社	2004年10月1日
615	エルシーアイ株式会社	2004年10月1日
616	三井物産オートモーティブ株式会社	2004年10月1日
618	ニコル・レーシング・ジャパン株式会社	2004年10月1日
621	ポルシェジャパン株式会社	2004年10月1日
622	日産トレーディング株式会社	2004年10月1日
623	ロールス-ロイス モーターカーズ リミテッド	2004年10月1日
(※2) 627	オートイービジャパン株式会社	2006年 3月1日
631	Ferrari Japan株式会社	2008年 7月1日
632	ワイ・エンジニアリング株式会社	2008年12月1日
633	株式会社RTC	2009年 6月1日
634	クライスラー日本株式会社	2009年 9月1日
635	ブレイントレーディング株式会社	2010年 6月1日
636	ピーシーアイ株式会社	2010年10月1日
637	テスラモーターズジャパン株式会社	2011年 2月1日
638	マセラティジャパン株式会社	2011年 1月1日
700	株式会社加藤製作所	2004年12月1日
701	株式会社小松製作所	2004年12月1日
702	東急車輛特装株式会社	2004年12月1日
703	コベルコクレーン株式会社	2005年 3月1日

(※1) 2010年12月31日付けで解約

(※2) 2010年 4月19日付けで解約

◆ 特定自動車製造業者等からの受託業務の再資源化量

品目	項目		2010年度	2009年度
フロン類	引取重量	CFC引取重量	265 kg	279 kg
		HFC引取重量	7,910 kg	7,289 kg
		合計引取重量	8,175 kg	7,568 kg
	引取台数	CFCの引取台数	1,076 台	1,112 台
		HFCの引取台数	26,092 台	23,519 台
		合計引取台数	27,168 台	24,631 台
エアバッグ類	引取個数	回収個数 ※1	10,380 個	8,185 個
		作動個数 ※2	86,534 個	75,626 個
		合計個数	96,914 個	83,811 個
	引取台数	回収台数	4,295 台	3,571 台
		作動台数	21,668 台	20,028 台
		一部回収／一部作動台数	174 台	95 台
		合計台数	26,137 台	23,694 台
	引取重量	引き取ったガス発生器の重量	7,110 kg	5,824 kg
ASR	引取台数	引き取った使用済自動車台数	30,420 台	27,048 台
	引取重量	引き取ったASRの重量	7,302 t	6,276 t

＜ 義務者不存在車等の再資源化等の実績 ＞

フロン類は、前年実績7.5千台より0.1千台減り、7.4千台を処理した。

エアバッグ類は、前年実績5.3千台より0.3千台増え、5.6千台を処理した。

ASRの引取台数は、18.7千台で前年度とほぼ同台数を処理した。重量にして4.8千トンであった。

これら三品目を処理するために要した費用は、前年実績2億7,528万円より2,135万円減り、2億5,393万円となった。

資金管理法から払い渡しを受けた預託金総額は、3億2,220万円であったことから、6,827万円の黒字となった。

◆ 義務者不存在車等の再資源化量

品目	項目		2010年度	2009年度
フロン類	引取重量	CFC引取重量	326 kg	406 kg
		HFC引取重量	1,889 kg	1,912 kg
		合計引取重量	2,215 kg	2,318 kg
	引取台数	CFCの引取台数	1,441 台	1,599 台
		HFCの引取台数	5,967 台	5,889 台
		合計引取台数	7,408 台	7,488 台
エアバッグ類	引取個数	回収個数 ※1	1,039 個	834 個
		作動個数 ※2	24,432 個	21,126 個
		合計個数	25,471 個	21,960 個
	引取台数	回収台数	419 台	399 台
		作動台数	5,122 台	4,866 台
		一部回収／一部作動台数	46 台	14 台
		合計台数	5,587 台	5,279 台
	引取重量	引き取ったガス発生器の重量	697 kg	576 kg
ASR	引取台数	引き取った使用済自動車台数	18,662 台	18,690 台
	引取重量	引き取ったASRの重量	4,814 t	4,758 t

◆ 収支

品目	項目	2010年度	2009年度
フロン類	払い渡しを受けた再資源化等預託金の額	16,749,378 円	16,951,696 円
	破壊に要した費用の総額	14,605,224 円	15,663,662 円
	収支	2,144,154 円	1,288,034 円
エアバッグ類	払い渡しを受けた再資源化等預託金の額	20,152,582 円	18,743,846 円
	再資源化等に要した費用の総額	16,388,761 円	18,287,166 円
	収支	3,763,821 円	456,680 円
ASR	払い渡しを受けた再資源化等預託金の額	285,302,251 円	279,694,224 円
	再資源化等に要した費用の総額	222,936,764 円	241,331,678 円
	収支	62,365,487 円	38,362,546 円
三品目合計	払い渡しを受けた再資源化等預託金の額	322,204,211 円	315,389,766 円
	再資源化等に要した費用の総額	253,930,749 円	275,282,506 円
	収支	68,273,462 円	40,107,260 円

< 再資源化の実施状況 >

エアバッグ類の再資源化は、引き取ったガス発生器重量が7.8千kgであり、再資源化率は94.1%と、基準値である85%を超える結果となった。

ASRの再資源化は、引き取ったASR重量が12.1千トンであり、再資源化率は82.5%であった。前年度の再資源化率80.0%に対して、2.5ポイント向上し、2015年の基準値である70%を超える結果となった。

◆ 再資源化率

品目	項目	2010年度	2009年度
エアバッグ類	引き取ったガス発生器の重量 ①	7,806 kg	6,400 kg
	引き取ったガス発生器で再利用できる状態にした重量 ②	7,343 kg	6,021 kg
	エアバッグ類再資源化率 ※3	94.1 %	94.1 %
ASR	引き取ったASRの重量 ③	12,116 t	11,034 t
	ASRリサイクル施設へ投入したASR重量 ④	10,982 t	9,695 t
	ASRリサイクル施設で生じた当該ASR由来の排出残さ重量 ⑤	987 t	866 t
	ASR再資源化率 ※4	82.5 %	80.0 %

※1 車体からエアバッグを取り外して、インフレーターを回収し、再資源化施設にてリサイクルする方法

※2 車体に取り付けたままエアバッグを展開しリサイクルする方法

※3 エアバッグ類再資源化率 = 引取ガス発生器再利用重量(②) / 引取ガス発生器重量(①)

※4 ASR再資源化率 =
$$\frac{\text{リサイクル施設投入ASR重量(④)} - \text{排出残さ重量(⑤)}}{\text{引取ASR重量(③)}}$$

以上